

教材研究

幼児教育における写真教材導入の実践

伊藤 洋文
Hirobumi ITO

1. はじめに

縁あって令和元年9月から、地元大田区の私立幼稚園、瑞穂幼稚園^{みづほ}の副園長を兼任している。とはいえ、高校教諭が本業のため、幼稚園の大きな行事に顔を出す以外は、もっぱら事務的な仕事を手伝い、園長である妻を陰ながら助けている。頻繁に送られてくる都や区、その他への提出書類のチェックや、園児の保護者宛プリントの作成に追われる毎日である。加えて、主な行事が終わるたびにホームページの更新を行っている。私の就任時、大田区内でホームページがない幼稚園はわずか2か所だった。そのため、私が副園長になって最初の仕事はホームページの立ち上げとなった。また、入園希望者向けの幼稚園説明会では、昭和の時代からずっと古風なスライド写真を投影しながらの説明が毎年続けられていた。これも時代に合わせたパワーポイントの導入を提案した。しかし、恥ずかしながら私はパワーポイントを作成したことが全くなかったため、当時高校生だった娘の絶大な協力を得ながら、何とか令和2年度の説明会には間に合わせる事ができた。

このように、副園長とはいっても、他の先生方のように直接保育に携わるわけではない。その代わりとして、幼稚園に毎日通わなくても、何か教育的に園児に還元できる方法はないものかと考えた結果、趣味の写真の導入を思いついた。園舎の1階から2階にかけての階段の壁面には、これまた昭和時代からの、どう見ても園児受けしそうな絵が描かれており、あまり雰囲気がよくない。そこで、その壁面に生物の写真を並べて展示しようと考えたのである。私は、日頃から趣味で生物の写真を撮りためている。これに新しく撮影した写真も加え、季節に応じてテーマを決めて展示することにした。

瑞穂幼稚園において令和元年11月から始めた写真展示の経緯を、以下に紹介したい。

2. 写真教材導入の実践記録

(1) 「はちまんじんじゃで みつけた いきものたち」(令和元年11月～)

副園長就任2か月後の令和元年11月から、園舎での写真の展示を開始した。第1回目のテーマは、上記の通りである。身近な自然に興味をもち、生物愛護、自然保護への思いを抱くようになってもらいたいという願いを込めて、瑞穂幼稚園から徒歩3、4分の距離にある馬込八幡神社の境内で撮影した写真を20枚選んだ。両生類2枚、爬虫類2枚、昆虫類16枚である。

写真はA4版にプリントしたものをクリアファイルに入れ、厚紙に印刷した種名とともに掲示することにした。今回は初めての展示ということもあって準備に手間取ったために、写真のほとんどには各生物の種名だけを表示した。

園児が普段通っている瑞穂幼稚園から近い場所にも貴重な自然が残され、いろいろな生き物が生息していることを十分に知ってもらえたと思われる。

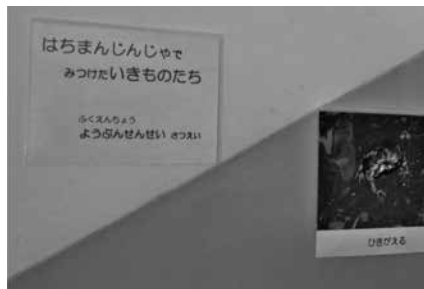


写真2.1.0 第1回展示のテーマ



写真2.1.1 ひきがえる



写真2.1.2 ひきがえる



写真2.1.3 やもり



写真2.1.4 やもり



写真2.1.5 あげは



写真2.1.6 からすあげは



写真2.1.7 おおみずあお
(がのなかまです)



写真2.1.8 あかぼしごまだら



写真2.1.9 あかぼしごまだら
(はるがた)



写真2.1.10 つまぐるひょうもん



写真2.1.11 やまとしじみ



写真2.1.12 こみすじ



写真2.1.13 こくわがた



写真2.1.14 こふきこがね



写真2.1.15 びろうどこがね



写真2.1.16 てんとうむしのなかま



写真2.1.17 ごまだらかみきり



写真2.1.18 みんなんぜみと
あぶらぜみ



写真2.1.19 しょうりょうばった



写真2.1.20 かまきり

(2) 「みたことあるかな？ はちまんじんじゃで みられるとり」(令和2年1月～)

幼稚園での写真展示の企画を考えた際に、最初は大まかに春夏秋冬の季節ごとに展示する予定であった。ところが、令和元年11月から写真の展示を開始したところ、想定外の出来事が起きた。園児たちが階段を上り下りする際、壁に貼り付けた写真(クリアファイルに入れた状態である。)とその下に貼った紙を手でこすりながら歩くため、年末までにクリアファイルや説明の紙がボロボロになってしまったのである。そこで、予定を急遽変更し、今後は2か月ごとに新しいシリーズと貼り替えることにした。

令和元年12月の年末から令和2年の年始にかけて、近隣の馬込八幡神社の境内で過ごす時間が長く、鳥類の写真を多く撮影できた。そのため、第2回目の展示は鳥の特集とした。

鳥類に特化したシリーズとしたのには、もう一つ大きな理由がある。この時期には、多くの園児が好きそうな昆虫類がほとんど見当たらない。一方、鳥類はこの時期にも多く観察することができる。実際、この年末年始に撮影できた鳥類は、狭い境内にもかかわらず12種に及んだ。昆虫に興味をもつだけでなく、身近な鳥の名前も覚えてほしいと考えた。

なお、今回は鳥の種名だけでなく、特徴などを表すコメントを少し加えた。しかし、同種の鳥の写真に同じコメントを書いたところもあり、手抜きが見られたのは反省点である。

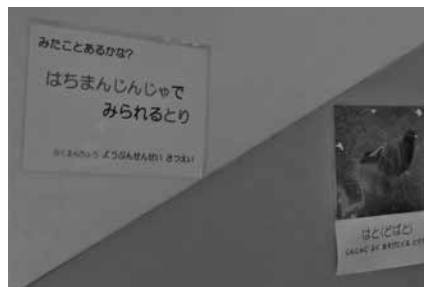


写真2.2.0 第2回展示のテーマ



写真2.2.1 はと(どばと)
じんじゃによくあそびにくるとりです。



写真2.2.2 はと(どばと)
どのおまわりにしようかな？



写真2.2.3 きじばと
ふつうのはとさんとはいろがちがうよ。



写真2.2.4 きじばと
「ででっぼっぼー」となきます。



写真2.2.5 すずめ
ちゅんちゅんとじめんをつついています。



写真2.2.6 すずめ
よくみるととてもかわいいことりです。



写真2.2.7 からす（はしぶとがらす）
まごめではいちばんおおきなとりです。



写真2.2.8 ひよどり
「ひーよ、ひーよ」となきます。



写真2.2.9 めじろ
めのまわりがしろくてかわいいね。



写真2.2.10 めじろ
めのまわりがしろくてかわいいね。



写真2.2.11 はくせきれい
いつも しっぽをふってあるいているよ。



写真2.2.12 はくせきれい
いつも しっぽをふってあるいているよ。



写真2.2.13 じょうびたき
ふゆを にほんで すごす わたりどりです。



写真2.2.14 じょうびたき
ふゆを にほんで すごす わたりどりです。



写真2.2.15 むくどり
くろっぽくて ふとっちょの とりです。



写真2.2.16 むくどり
くろっぽくて ふとっちょの とりです。



写真2.2.17 いんこ (わかけほんせいんこ)
とても きれいな とりです。



写真2.2.18 いんこ (わかけほんせいんこ)
とても きれいな とりです。



写真2.2.19 つぐみ
ふゆをにほんですごすわたりどりです。



写真2.2.20 しじゅうから
すばしっこくてかわいいことりです。

(3) 「がいこく（こすたりか）のいきもの」（令和2年3月～）

私が瑞穂幼稚園の副園長に就任したのは、令和元年の2学期が始まった9月のことであるが、園児の保護者の前で初めてご挨拶したのは、1学期最後の行事、園庭で開催された夕涼み会でのことである。

それは令和元年7月26日（金）の夕方のことだった。実は私はこの日の朝に、一人旅を終えて中米コスタリカから成田空港に着いたばかりだった。コスタリカ滞在中には多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、そして昆虫類等無脊椎動物などとの嬉しい出会いがあり、それらの写真を楽しく撮影することができた。このコスタリカでの見聞は、『外苑春秋』第10号に紹介している。

さて、幼稚園園庭でのご挨拶の際に、コスタリカで出会った珍しい生き物たちの写真をいずれ園児たちに見せてあげたい旨の話をした。そのため、この時話を聞いていた年長組の園児が卒園する前に、ぜひコスタリカの生き物の写真を見てもらいたいと考え、3月からの3回目の展示では、エコツーリズム大国コスタリカの写真を展示することにした。

ところで、幼稚園の先生方には絵の上手な先生が多いことに触発され、今回から「展示のテーマ」にイラストを加えることにした。



写真2.3.0 第3回展示のテーマ



写真2.3.1
めが あかくて おおきい
あかめあまがえる



写真2.3.2
のどを ふくらませて ないている
かえるさん



写真2.3.3
めが きんいろの ひきがえる



写真2.3.4
さわるとあぶない やどくがえる



写真2.3.5
かわいい おかおの おまきざる



写真2.3.6
なかよしの くもぎざるの おやこ

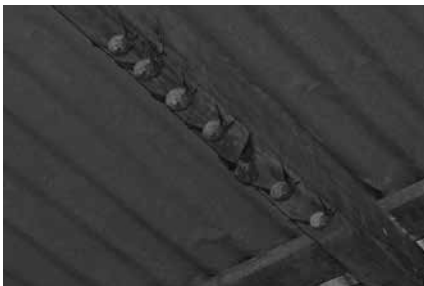


写真2.3.7
ぎょうぎよくならぶ こうもりたち



写真2.3.8
ひなたぼっこしている わにさん



写真2.3.9
きれいな みどりのへびさん



写真2.3.10
ぼうしをかぶったような
とかげさん



写真2.3.11
ひなたぼっこする ぎざぎざの
とかげさん



写真2.3.12
このへびは こわい どくへびです



写真2.3.13
きれいな はちどりが あつまって
じゅーすを のんでいます



写真2.3.14
じゃんぐるに すんでいる
きれいな とりさん



写真2.3.15
はなのみつを すう
きれいな ちょうちょ



写真2.3.16
へんな かたちの くもがいました



写真2.3.17
とてもつよそうな おおきな ばった

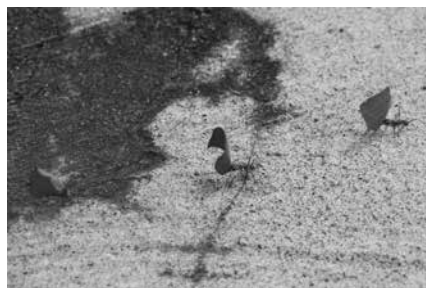


写真2.3.18
はきりありが
はっぱを はこんでいました



写真2.3.19
とてもきれいな ななふしの なかま



写真2.3.20
こけのまねをしている
きりぎりすの なかま

(4)「はるが きました はるの くさばなと むし」(令和2年5月～)

令和元年の年度末は、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の重大事件のために社会が大混乱した。2月末には学校等の休校要請が出され、3月には春の選抜高校野球の中止や東京オリンピックの開催延期が決定した。瑞穂幼稚園でも年度末、年度初めの行事が軒並み中止に追い込まれた。4月7日には緊急事態宣言が東京都などで発令され、外出自粛が強く要請された。当初1か月と目されていたこの緊急事態宣言が解除されたのは、7週間後の5月25日のことであった。これを受けて瑞穂幼稚園では、令和2年度の入園式に向けての準備を進め、延期されていた入園式を、6月6日(土)に開催した。

ところで、外出自粛が要請され、「ステイホーム」が推奨されていた期間は、春を迎え活動を始めた身近な生き物たちを撮影する絶好のタイミングとなった。不定期となった通勤時に神宮外苑で撮影した草花や、馬込八幡神社境内で撮影した昆虫類など、この間に撮った写真をメインとして4回目の展示に備えた。そして、私が写真を園舎に掲示した5月はまだ休園中だったために教職員以外の目に触れることはなかったものの、ようやく6月からは園児に見てもらえるようになった。緊急事態宣言が解除された人間社会に向けて、春を迎えて躍動的な虫たちや咲き競う花々の姿が元気を与えてくれるよう願っての展示であった。



写真2.4.0 第4回展示のテーマ



写真2.4.1
ありさんがすから できました



写真2.4.2
ありさんは とても ちからもち



写真2.4.3
はなにとんできた みつばち
あしにかふんがたくさんついています



写真2.4.4
もようのきれいな だんごむし



写真2.4.5
はっぱのうへの てんとうむし
きいろいはなの かふんがついています



写真2.4.6
ひかげでかくれんぼしている
てんとうむし



写真2.4.7
さわるとくさいかめむしさん

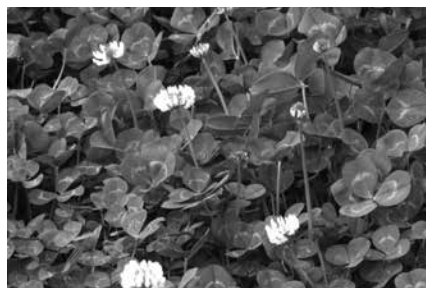


写真2.4.8
しろつめくさのはっぱは
みつばのくろーばーです



写真2.4.9
きいろいおはながきれいな
かたばみのはっぱもみつばです



写真2.4.10
はるじおんはしろくて
ほそいはなびらがたくさん

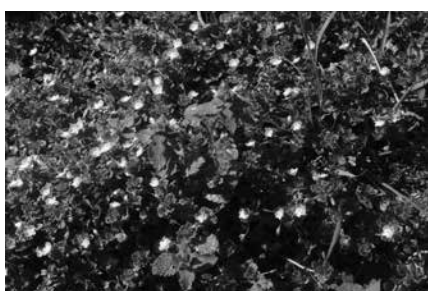


写真2.4.11
あおくてちいさいはなの
おいぬのふぐり



写真2.4.12
からすのえんどう
あとからちいさいおまめをつけます



写真2.4.13
うすむらさきのかわいいすみれ



写真2.4.14
たんぼぼのはっぱはぎざぎざです



写真2.4.15
なずなのみは
かわいいはーとのかたち



写真2.4.16
びんくのちいさいはなは
ほとけのざ



写真2.4.17
なのはなのつぼみは
おいしくたべられます



写真2.4.18
ちいさくてきいろいはなの
ははこぐさ



写真2.4.19
うすいびんくのちいさいはなは
ひめおどりこそう



写真2.4.20
つくしとすぎな
つくしはゆでたべるとおいしいよ

(5) 「はるからなつのいきものたち」(令和2年7月～)

瑞穂幼稚園では、間もなく小学生となる年長組の園児に、就学時前教育を実施している。「もじのおけいこ」と「おんがくのおけいこ」を通して、小学校に入った際に授業をきちんと受けられる姿勢を培うためのカリキュラムである。実際、瑞穂幼稚園から入学した児童にはよく頑張っている子が多いという喜ばしい話を、地元小学校の校長先生から伺っている。

そこで、理科教育に関しても小学校低学年のカリキュラムを踏まえて検討することにした。

現在、小学校低学年での理科は、生活科という教科の中で学習する。地元の小学校で採択している生活科の教科書を調べてみると、大田区内は全て啓林館の『わくわくせいかつ（上）』と『いきいきせいかつ（下）』であることがわかった。早速購入して取り上げられている動植物を確認したところ、1年生が使用する『わくわくせいかつ』では、アサガオ、ヒマワリ、ホウセンカ、マリーゴールド、オシロイバナ、オクラなど一年生植物（発芽から一年以内に開花、結実して種子を残し、枯死する植物）を育てる内容が記載されていた。また、『いきいきせいかつ』では、おたまじゃくしの飼い方が紹介されていた。撮影に適期を迎えるこれらの生物の成長過程を第5回展示のメインとし、他の写真を数枚加えることにした。

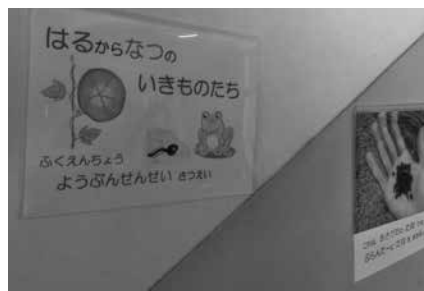


写真2.5.0 第5回展示のテーマ



写真2.5.1

これは、あさがおの たね です。
ぷらんたーに たね を まきました。



写真2.5.2

つちの なかから めが できました。



写真2.5.3

ふたばが ひらきました。



写真2.5.4

ふたばの まんなかから
ほんばが できました。



写真2.5.5
つるがどんどんうえに
のびていきます。

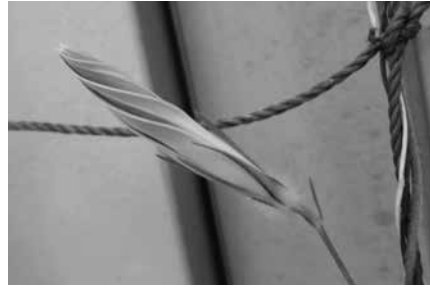


写真2.5.6
きれいな つぼみが できました。

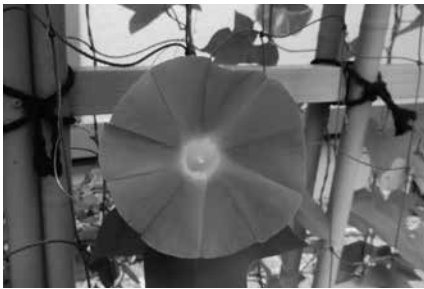


写真2.5.7
そして、とうとう まるい あさがおの
はなが きれいに さきました。



写真2.5.8
めが かわいい はむしの なかま。
(くろうりはむし)



写真2.5.9
ひげが ながい かみきりむしの なかま。
(きまだらかみきり)



写真2.5.10
1センチくらいの、ちいさい たまむし
のなかま。(だいまょうながたまむし)



写真2.5.11
よる、がいとつにとんできた こがねむ
しの なかま。(ながちゃこがね)



写真2.5.12
めが ひとつの うちゅうじん みたいな、
かめむしの なかま。(きまだらかめむし)

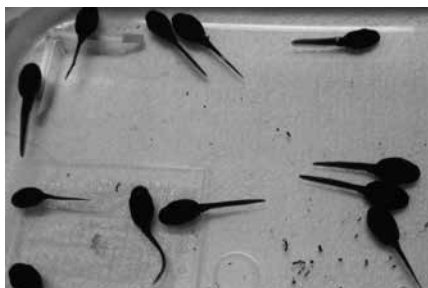


写真2.5.13
いけで、おたまじゃくしをとってきました。



写真2.5.14
ゆでた およさいを、もぐもぐ たべます。



写真2.5.15
さいしょに、あしがはえてきました。



写真2.5.16
あしの つぎに、てがはえて きました。



写真2.5.17
しっぽが みじかくなると、みずから
でるようになります。



写真2.5.18
1センチ くらいの ちいさな かえるに
なりました。ひきがえるです。



写真2.5.19
おとなの ひきがえるになると、10セ
ンチ くらいのおおきさになります。



写真2.5.20
おとなでも 2センチ くらいの、ちいさな
あまがえる。にこにこして かわいいね。

(6) 「むしたちの だいへんしん!」(令和2年9月～)

夏は、生物たち、特に昆虫類が種類数も個体数も多く出現する季節である。今回も、小学校の生活科の教科書(啓林館)をヒントにテーマを決めた。

1年生の『わくわくせいかつ』ではセミの羽化の過程が、また、2年生の『いきいきせいかつ』ではアゲハの幼虫の飼い方が掲載されている。アゲハについては、かつて娘が小学生の時に、夏休みの自由研究のテーマに選んだことがある。この時は私自身も娘に助言しながら、新しい発見などをまとめて『外苑春秋』第2号に論文を発表した。卵、幼虫、蛹、成虫という完全変態の過程はとてもダイナミックで感動的だった。その際には卵から成虫までの全過程を詳細に撮影しているため、今回はそのデータを利用することにした。

一方、セミではアブラゼミの羽化を断片的に撮影したことはあるが、一匹の羽化の全過程を連続して追ったことはない。そこで、この夏7月31日(金)、馬込八幡神社境内において、夜9時半から11時半まで、蒸し暑さと蚊の攻撃に耐えながら丸々2時間撮影し続けた。

なお、今回はアゲハもアブラゼミも時系列で写真を並べているため、各写真の説明もその経緯がわかりやすいよう留意して、今までよりも少し詳しくに記した。

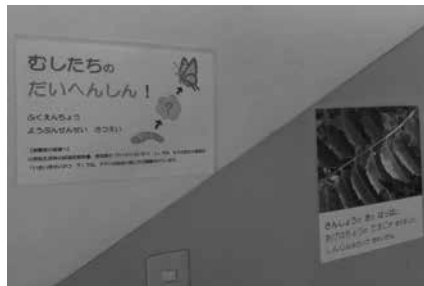


写真2.6.0 第6回展示のテーマ



写真2.6.1

さんしょうのきのはっぱに、
あげはちょうのたまごがありました。
しんじゅみたくてきれいだね。



写真2.6.2

たまごから、あたまがくろくて
ちいさな あかちゃんが うまれました。



写真2.6.3

うまれたあげはちょうのあかちゃんは、さいしょにたまごのからをもぐもぐとたべます。



写真2.6.4

ちいさいころのようちゅうは、くろいろをしていて、さんしょうのはっぱをたくさんたべます。



写真2.6.5

おおきいようちゅうになるために、だっぴをします。(かわをぬぎます。)



写真2.6.6

おおきくてきれいなみどりいろのようちゅうになりました。



写真2.6.7

ようちゅうは、みどりいろのさなぎになると、じっとしてうごかなくなります。



写真2.6.8

なんにちもたと、あげはちょうのいろが、みえてきます。さなぎからでてくるのは、もうすぐです。



写真2.6.9

さなぎのからがわれて、ちょうができました。



写真2.6.10

「がんばれ! がんばれ!」



写真2.6.11
とうとう からだが ぜんぶ さなぎから
そとに できました。



写真2.6.12
じかんが たつと、きれいな はねが
おおきく ひろがって いきます。
もうすぐ おそらをとべるね。



写真2.6.13
せみの ようちゅうが、つちの なかから
でて、かべを のぼって きました。



写真2.6.14
のぼるのを やめて、じっと していたとき、
きゅうに せなかが ぱかんと あきました。



写真2.6.15
あいた せなかから、きれいな せみの
せいちゅうが、でて きました。



写真2.6.16
まず さいしょに、ぐーんと せなかを
のぼして、ぶらさがります。



写真2.6.17
つぎに、よいしょと おきあがって、
ようちゅうの からを しっかりと
つかめます。



写真2.6.18
おしりまで ぜんぶ、からの そとへ
でることが できました。
よく がんばったね。



写真2.6.19

だんだん はねが のびて、いろが こく
なってきました。あぶらぜみだったんだね。
もうすぐ おそらを とべるよ。



写真2.6.20

あぶらぜみ (ひだり) と
みんみんぜみ (みぎ) が、
なかよく きの みぎにとまっています。

(7) 「がいこく (とうなんあじあ) の いきもの」 (令和2年11月～)

早いもので、写真展示を始めて一年が経った。これまで扱ってきたテーマは、基本的には身近な自然を撮ったものが多く、小学校入学後に教科書を見たとき、「幼稚園で見たことがある」と思い出せる対象を含むように選んできた。そして、年に一回だけ、目新しく珍しい海外の生き物を紹介した。このパターンは、今後もしばらく続けようと考えている。

さて、今考えるととても幸いなことに、令和元年度には夏季休暇を利用して単身コスタリカを訪れることができた。しかし、令和2年度はコロナウイルス感染拡大のために、海外どころか国内の旅すら難しい社会情勢となってしまった。今後、令和3年1月からの第8回展示では再び鳥特集のリニューアル、3月からの第9回では春の草花と虫のリニューアルを予定していることから、この第7回は国内から海外に視点を移し、過去に訪れた東南アジアで撮影した動植物の写真の展示に決めた。『外苑春秋』第1号に寄稿した通り、私はこれまでアセアン(ASEAN、東南アジア諸国連合)の10か国は全て訪れている。それらの国々で出会った生物の一部を紹介することにした。今回はアセアン10か国のうち、ラオス、タイ、シンガポール、ブルネイ、インドネシア、マレーシアで撮った写真を用いたが、園児向けのため国名までは表記しなかった。また、初めてクイズ形式の構成を部分的に試みた。

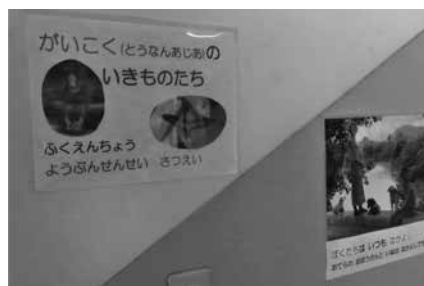


写真2.7.0 第7回展示のテーマ



写真2.7.1
ぼくたちはいつも なかよし
おてらの おぼうさんと いぬは なかよしです。



写真2.7.2
ぞうの たくしーのりば
ここから ぞうにのって やまみちを
すすみます。



写真2.7.3
おらんうーたんの あかちゃんと まま
なにを はなしているのかな。



写真2.7.4
はなの たかいてんぐざる
かぞくと きのうえに すんでいます。



写真2.7.5
いるかが いっぱい
いるかが たくさん およびできました。



写真2.7.6
すいぎゅうが いっぱい
たくさんの すいぎゅうが
あるいてきました。



写真2.7.7
おおこうもりが いっぱい
くだものを たべる こうもりの なかまです。



写真2.7.8
このしまのまの ぼーる なにかな
こたえは つぎの しゃんを みてね。



写真2.7.9
だんごむしの なかまです
にっぽんの だんごむしよりも きれいだね。



写真2.7.10
すこしおおきい このぼーる なにかな
✓こたえは つぎの しゃしんを みてね。



写真2.7.11
これも だんごむしの なかまです
にっぽんの だんごむしよりも おおきいね。



写真2.7.12
じゃんぐるの なかの へんな ぼーる
✓ひらくと つぎの しゃしんに なります。



写真2.7.13
おおきな はなの つぼみでした
はっぱのないらふれしあ という はなです。



写真2.7.14
つぼの かたちをした はっぱ
むしを たべる
しょくちゅうしょくぶつ です。



写真2.7.15
うみがめの あかちゃん たんじょう
うみに むかって げんきにあるいていきます。



写真2.7.16
がらすにくつつく やもりさん
すべりおちないのが ふしぎだね。



写真2.7.17
おてらを まもる へびさん
とても ひとになれていて おとなしいです。



写真2.7.18
せかいいち おおきな とかげさん
こもどとう にすむ
こもどおととかげ です。



写真2.7.19
きれいな みどりの とかげさん
くちを あけて なにか はなしているのかな。



写真2.7.20
きれいな みどりの かえるさん
おめめが おおきくて かわいいね。

(8) 「さむいふゆでも とりさんは げんきです!」(令和3年1月～)

令和3年1月からの第8回展示では、令和2年1月からの第2回展示と同様に、冬季でも多く観察できる鳥類の写真をリニューアルして展示した。令和2年の第2回展示では、馬込八幡神社の境内で撮影した12種の鳥類を紹介した。ドバト、キジバト、スズメ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、メジロ、ハクセキレイ、ジョウビタキ、ムクドリ、ワカケホンセイインコ、ツグミ、シジュウカラの12種である。そして、令和2年の年末から令和3年の年始にかけては、さらに2種の鳥（コゲラ、オナガ）を境内で撮影することができた。そのため、これら2種の写真2枚ずつを加えた14種の写真20枚をリニューアル展示した。その分、前回同一種で2枚展示した種のうち、キジバト、スズメ、ハクセキレイ、ムクドリは、それぞれ1枚に減らした。また、昨年の展示写真のうち園児に好評だった、正月に神社の授与所を訪れたドバトの写真は、今年さらにかわいく撮れた新しいものと差し替えた。

令和3年に新しく差し替えた5枚の写真のみ、以下に紹介する。

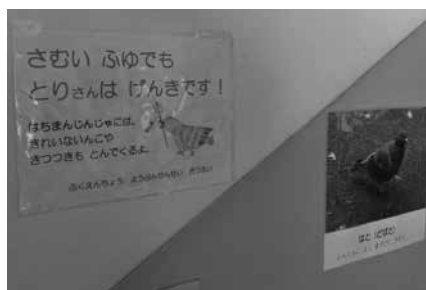


写真2.8.0 第8回展示のテーマ

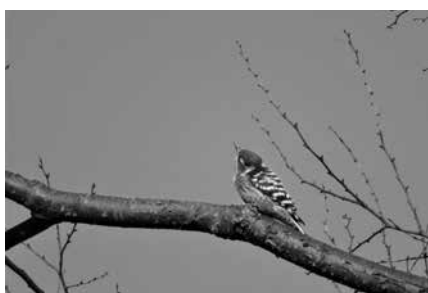


写真2.8.1 こげら
にっぽんでいちばん ちいさな
きつつきです。



写真2.8.2 こげら
こんこんこん…と
きをつついています。



写真2.8.3 おなが
なまえの とおり
おっぼが ながい とりです。



写真2.8.4 おなが
じんじやの やねの かたちって
おもしろいな。



写真2.8.5 はと (どばと)
おまもり ひとつ くださいな。

(9) 「はるがきたよ！ はるの むしたちと くさばな」(令和3年3月～)

令和3年3月からの第9回展示では、令和2年5月からの第4回展示で紹介した写真をリニューアルして展示する予定であった。しかし、直前の2月下旬まで寒い日が続き、春らしい草花や昆虫等の写真を新たに撮影することがなかなかできなかった。そのため、とりあえず第4回展示と同じ写真を用いて、「展示のテーマ」のイラストと説明文だけリニューアルしたものを展示した。



写真2.9.0 第9回展示のテーマ



写真2.9.1 第9回展示の様子(1)



写真2.9.2 第9回展示の様子(2)

3. 今後の写真教材導入計画

写真展示を一年以上継続させることができ、展示を想定して新しく撮りためた写真が増えてきたこともあり、今後の時期ごとの展示テーマも定まってきた。これからは以下のテーマを基本として、その都度アレンジを加えていきたいと考えている。なお、展示する写真の数は、展示スペースを考慮して、毎回20枚とする。

① 1月～ 「馬込八幡神社境内で撮影した鳥の特集」

冬でも身近で観察できる鳥類を特集して紹介したい。年末年始以外でも、他の鳥類種を撮影できれば加えていきたい。

② 3月～ 「春の草花と虫」

時節がら躍動し始める植物や昆虫類等の姿をクローズアップしたい。この時期の生物種は、これからもまだまだ新しく撮影し、差し替えていけるであろう。

③ 5月～ 「アサガオ、カエルの成長を中心に」

令和2年度の展示では、その年に撮影した写真を導入したため、7月からの展示となった。今後は撮りためた写真を用いることで、一つ時期を早めて展示したい。そして、アサガオとカエル以外には、春から初夏に見られる生き物の写真を付け加えたい。

④ 7月～ 「セミやアゲハの変態を中心に」

これも令和2年度にはセミの撮影後の9月の展示となったが、今後は夏休み前からの展示としたい。その方が、夏休み中に実物を観察したいという園児にとってはよいタイミングとなるであろう。また、幼稚園の先生の中には、セミやアゲハなどの昆虫が苦手な先生もいるかもしれない。この時期の展示であれば、夏休みをはさむ期間であるために、長い間見なくてすむという点で都合がよいと思われる。

⑤ 9月～ 「夏から秋に見られる生き物たち」

夏から秋にかけてもいろいろな動植物を観察することができるが、まだ写真展示を始めていない令和元年度はもちろんのこと、令和2年度もこのテーマでは展示していない。

今後新しく撮った写真を加えつつ、身近な自然に生きるこの時期の動植物を紹介したい。

⑥ 11月～ 「外国の生き物たち」

11月から2月は、植物と鳥類以外の生き物を見る機会は少ない。鳥類は1月からの特集で企画しているため、年に一度、この11月からの時期だけは、海外で撮影した目新しい動植物を紹介したい。ただし、比較的近年撮影した写真はデジカメを使用しており安価でプリントできるが、それ以前はリバーサル（スライド用）フィルムで撮影した写真が中心であるため、現像代がかかるのが問題点である。海外への撮影旅行が再び可能となるよう、コロナの終息を心から願ってやまない。

以上の6つの展示のうち、①～⑤については、小学校の生活科の教科書とリンクさせながら写真を選定していきたいと考えている。

4. おわりに

思いつきで始めた幼稚園児への写真展示であるが、何とか一年以上継続させることができた。試行錯誤しながら続けてきたことで、時期ごとのテーマもある程度定まった。今後さらに改善しつつ、継続していければと考えている。

できれば園児一人一人の感想を聞いてみたいものだが、そのために保育の時間を削ったり、担任の先生方の手を煩わせるのも抵抗があるため、感想のアンケート調査などは実施していない。しかし、貼り替えるたびに写真をじっと眺める園児の様子を見ると、興味を抱いてくれていることが伝わってくる。一方、子どもがとても喜んで見ている旨を保護者から伺う機会もあり、それもまた励みになっている。

ところで、展示した写真の3分の2以上は、幼稚園近くの馬込八幡神社で撮影したものだ。住宅地の中にある神社の、決して広くもない境内においてである。しかし、身近な自然をよく見てみることで、今まで何年住んでいても目に入らなかった生き物を発見する機会が何度もあった。皮肉にも、新型コロナウイルスによるステイホームが、身近な自然の奥深さに気付かせてくれるいい機会となった。いろいろな角度から深く自然を観察する姿勢や、見過ごしていた自然に気が付く体験は、高校での生物教育や生物部の活動にも生かせると思われる。また、これまでに撮りためた写真は、今後高校でも教材として使用する機会があるかもしれない。そのため、この拙稿は「教材研究」という括りで寄稿させていただいた。

今回『外苑春秋』に実践記録をまとめるに当たり、“写真教材を用いた、幼稚園児を対象とした理科教育”に関する文献を検索したが、なかなか見つからなかった。出身大学の図書館もコロナ禍のために卒業生は利用できず、理科教育関連の学会誌等も調べられなかった。深い考察や検討ができなかったことから、今回は論文などではなく単なる実践記録として報告したい。

参考文献

- ・寺尾愼一他、わくわくせいかつ(上)、啓林館、2019
- ・寺尾愼一他、いきいきせいかつ(下)、啓林館、2019
- ・伊藤洋文、アセアン全10か国踏破への道、外苑春秋 第1号、國學院高等学校、2011
- ・伊藤洋文、観察教材としてのアゲハの有効性—小学校3年生での夏休み自由研究テーマとして—、外苑春秋 第2号、國學院高等学校、2012
- ・伊藤洋文、コスタリカ自主研修、外苑春秋 第10号、國學院高等学校、2020
- ・後藤和佳子、身近な自然で楽しい保育、ひかりのくに、2016
- ・秋山幸也、生きものつかまえたらどうする?、偕成社、2020



瑞穂幼稚園 園舎外観



最新、第10回展示の様子 (1)



第10回展示の様子 (2)



第10回展示の様子 (3)



令和2年度卒園児代表からもらったプレゼント (卒園文集)

令和3年5月からの第10回展示において、前年の展示と新たに入れ替えた5枚の写真。



もんしろちょうが、すとりーみたいなくちで、たんぼほの みつを すっています。



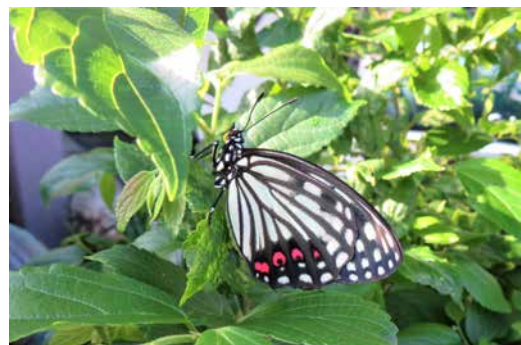
みずたまもようが おしゃれな てんとうむし (ななほしてんとう)。



いほんみつばちが、うちから できました。いじめなければ さしません。こわがったり、いじめたり しないで、そっとみてね。



がいこくから きた ちょうちょ、あかほしごまだらのはるがた。はるがたには、あかいほしは、ありません。



あかほしごまだらのはるがた。はるがたには、あかいほしが、あります。ふしぎだね。